



# 森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 11月園だより

平成28年10月28日  
園長 新井 智子

〒108-0071  
港区白金台  
3-7-1  
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>

## 運動会 5歳児のソーラン節



## ペンギンミニ運動会 未就園児対象の運動会



## 見えないバトン

園長 新井 智子

秋晴れのもと、「しろかねだいオリンピック」運動会が森の園庭で行われました。地域や保護者の皆様のお力添えで、子どもたちは、日ごろ遊び、積み重ねてきことを十分に発揮し、笑顔と満足感いっぱい運動会を終えることができました。特に、運動会委員を中心とする保護者の皆様には、早い時期から準備や園庭の整備をしてくださり、当日円滑な運営となるよう支えてくださいました。本当にありがとうございました。

それぞれの学年の取り組みをご覧になり、お子さんの成長を感じられたと同時に5歳児の取り組みに「さすが！年長」と感心された方も多いのではないのでしょうか。「ソーラン節」は気持ちを合わせて力強く踊りました。伝統の森を駆け抜けるリレーは、3週間以上前からいろいろな形態で取り組み、子どもたち自ら決めた学級対抗という形で行い、白熱する接戦でした。一回勝負にかけた子どもたちの一番の思いは、学級全員で一つのバトンをつなぎたいことだったのではないのでしょうか。勝っても負けても清々しい表情の子どもたちは、運動だけではない喜びや悔しさの感情体験、友達と力を合わせ、精一杯頑張る尊さなど様々なことを学んだと思います。

さて、これで運動会の活動は終わったわけではありません。翌週から園庭では、学年を超えた運動会競技や子ども同士のかかわりが見られました。憧れの森のリレーでは、3学年混合でバトンを持ってぐるぐる走る遊びをしたり、衣装や小道具を貸し借りして他学年のリズムを教え、踊ったりする姿が見られました。また、サツマイモの蔓でリレーバトンや金メダルを作って運動会ごっこをする姿も見られました。『あこがれの年長さんたちに教えてもらう』『年長さんのリレーの場所を走らせてもらう』『プラカードや聖火のトーチを持たせてもらう』など、年上の友達から心のつながりや遊びのバトンが渡っていく姿に心が温まります。しっかりと見えないバトンを受け継ぐ年中、年少児。来年の運動会に思いを馳せ、思い思いに実現させて遊びに取り組んでいる今が、実はとても大事なのです。

## <今月の指導のねらい>

### 3歳児

- 着替えや片付けなど、生活に必要なことに自分から取り組み、できた満足感を味わう。
- 友達と同じ場で、自分の思いを言葉や動きに出しながら遊ぶ楽しさを味わう。
- ドングリや落ち葉などの秋の自然物に触れ、親しみをもったり遊びに使う楽しさを感じたりする。

### 4歳児

- 自分の思いや考えを言葉や動きなどで表しながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- グループの友達と一緒に、生活に必要なことに取り組もうとする。
- 落ち葉や木の実などの自然物に触れたり、遊びに取り入れたりする楽しさを味わう。

### 5歳児

- 自分のめあてに向かって試したり挑戦したりし、粘り強く取り組む。
- 自分の思いや考えを伝えたり受け入れたりして、友達と一緒に遊びや活動を進めていく楽しさを味わう。
- 深まる秋の自然に気付き、感動や発見を伝え合ったり、遊びに取り入れる面白さを感じたりする。

